

【令和6年度 授業改善推進プラン】

板橋区立 蓮根第二 小学校

○…良い点 ●…課題点

【体育】

<p>■児童の状況</p>	<p>○体育の授業が好きで、進んで取り組む児童が多い。 【主体的に学習に取り組む態度】 ○お互いが協力して行うボール運動などのチームスポーツに意欲的に取り組んでいる。【主体的に学習に取り組む態度】 ●正しい力の入れ方が分からない、投力に課題がある児童、しゃがむなど基本的な動きが難しい、柔軟性に課題がある児童、走力、持久力に課題がある児童が見られる。【知識及び技能】 ●運動の二極化が深刻化している傾向がある。授業1つを見ても、取り組み方に差が出てきている。【主体的に学習に取り組む態度】 ●どんな動きができていないのか、どんな動きが正しいのかなど児童自身が課題を把握することが難しい。【思考力・判断力・表現力】 ●日頃の授業が日常の生活に生かされない。【思考力・判断力・表現力】</p>
<p>■指導についての課題</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・基礎的な体力を高める必要がある。 ・運動の領域ごとに個人差に応じた場の設定やルール等を工夫する必要がある。 ・校庭が芝ということもあり、場には制限があるため話し合いのポイントの明確化を図り、指導方法を工夫し、運動時間と運動量を確保する必要がある。 ・日頃の授業が日常の生活に結び付くような指導をしていく必要がある。
<p>■授業革新推進に向けての具体的な方策</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・取り組む運動領域に合わせ、ペア・トリオ・チームなど、友達と関わりながら学び合いができる環境を作る。また、話し合う場に必要な情報を与えたり、調べさせたりし、言語活動が充実した授業を目指す。 ・児童の発達段階に合った配慮を行う。個に応じた運動実践ができるように個人差に応じた場を設定する。 ・身体の動かし方や運動の仕方を理解させながら、運動が“できる”ようになる指導を行う。 ・校庭開放での運動、遊びの推奨をする。